

三徳開教 110年

平成 30年

10 月号

No.588

法音



運命は自分から作り、

幸福は自分から求めるもの

①

日蓮宗
法音寺





知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
 受けた恩に感謝しましょう。
 恩を忘れぬ人は信頼されます。
 今日一日、
 人に親切にしましょう。
 人が喜び、自分もうれしい。
 仏の教えは
 知恩報恩の人となることです。

月刊・法音

平成三十年十月号「588」

■目次■

【信仰の指針】徳香 とくこう 人に喜ばれていますか
 【朝のこない夜はない】

運命は自分から作り、幸福は自分から求めるもの①

山首 鈴木正修

- お会式が厳修されます
- 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください
- 単行本『ひまわり』のご案内
- まんが・六波羅蜜のお話
- 幸せな日々を送るための六つの徳目《六波羅蜜》
- とこのはの記 回向のこと
- のりのね体験 いま・昔
- のりのとも 西に東に 転法輪・支院だより
- 福祉に生きる 小原学園・小原寮の実践
- 【特別寄稿】日本福祉大学社会福祉学部
- スカラシップ制度入学生特別講演会
- 賛助員ご芳名
- 幸せの種まき／編集後記
- 連載まんが・ひまわり・69 挑戦
- 書籍のご紹介
- 法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・ダリア

掲載写真

表紙・信仰の指針・3

15頁…梅田雅臣氏撮影
 2頁…加納将人氏撮影

信仰の指針

徳とく香こう

人に喜ばれていますか

日教五



ホタルブクロ



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

運命は自分から作り、

幸福は自分から求めるもの ①

私達は徳の人を見ると、心が晴れやかになり、
ような人になりたい。少しでも近づきたい[〃]と思うもの
です。

山口県周防大島町で行方不明になった2歳児を救出し
て、時の人となったスーパーボランティアの尾畠春夫さ
んは正に徳の人だと思えます。尾畠さんは幼児救出後、
すぐに、西日本豪雨で被害を受けた広島県呉市でボラン
ティア活動に参加されました。テレビで観たのですが、
尾畠さんは現地で大人気で、住民の方々はもちろん、他
のボランティアからも大歓迎を受けておられました。尾



島さんを見てみると、観世音菩薩がこの娑婆世界に遊ぶが如く、本当に徳を積むことを楽しんでおられるように見えます。

新渡戸稲造博士が名著『修養』の中で次のように言っています。

「徳には名誉も黄金も及ばぬ保存力と快樂とがあるものと見ゆる。金ある者は、あるいは失敗して一夜にこれを失うことがある。人に嫉まれたり、うらやまれたりすることもある。しかし、徳の人は火災に喪失するの憂いもなく、人に嫉まれることもない。むしろ、嫉む人を教化する力がある。そして、人の知らぬ所、知り得られぬ楽しみがある。暗夜も畏るることなく、朝起きて日光の輝けるを迎うれば、実に日光を心に反射し、雨が降っても風が吹いても、胸中は常に嬉嬉として、晴れた天のごと



くである。到る所に楽地ある心地して、我々の味わうことのできぬ快樂がある。いわば他人の食うものと、別なものを食うておるがごとき観がある」

新渡戸博士が尾畠さんのことを言っておられるような感じがいたします。

昔から日本人は徳というものを大変重んじてきました。江戸時代に中国から日本に伝わった『陰鷲録』という書物があります。これは「徳と罪」「因果の二法」について書かれた本です。

著者は中国の明の時代の高級官僚で袁了凡という人です。この人は経歴の最後には軍隊の指揮をとり、豊臣秀吉の朝鮮の役で加藤清正の軍と戦い、これを咸鏡において打ち破ったとされています。



袁了凡は若い頃、運命論者でした。ある高僧に出会って、運命論者から運命開拓者に変わりました。この話が江戸時代に日本に伝わり一般庶民にまで広く浸透しました。今でも『陰騭録』について書かれた本は何種類も出版されています。先日、通販サイトのAmazonには、子ども向けのものもありました。

『陰騭録』の「陰」とは、「ひそかに」という意味です。そして「騭」は、「定める」という意味です。つまり、「天は人間の日々の善悪の行いをひそかに照覧して、禍福の運命を定める」ということです。

袁了凡がなぜこの本を書いたかという点、一人息子の天啓への訓示として、自分の生涯をかけて実行したことを書き残したのです。そして天啓やその子孫が、『陰騭録』を自分達のものだけにしておくのはもったいないと



いうことで、中国で広まり、日本にも伝わり、そして現代にもつながっているのです。

『陰鸞録』の第一章は「立命の学」です。ここには、袁了凡の実体験が書かれています。

昔、中国では「科挙」という官吏登用試験があり、それに合格することが人生の大目標でした。現代の日本でも、この国家公務員試験です。この試験に合格する最終順位が、その後の地位をすべて決定していました。第一番は状元、第二番は榜眼、第三番は探花と称せられ、一生涯の名誉、一族の名誉とされました。そういう特別な試験だったので、当時の人々はみんな科挙に受かりたいと一生懸命でした。

科挙は中国の随の時代、日本で言えば聖徳太子の時代



に始まりました。そして清の時代に終わっています。日本では明治時代に、科挙と同じような国家公務員試験が始まりました。その昔、中国では胎教が盛んでした。ここでいう胎教とは、科挙に合格するためのものでした。今はクラシック音楽を聴かせると胎教に良いとされていますが、当時の中国では科挙の教科書の一つである詩経を読んで聞かせていました。

袁了凡は子どもの頃にお父さんを亡くし、とても貧乏な暮らしをしていました。それでも、科挙に合格しようと頑張っていました。お母さんがある時「もうそろそろ科挙に受かるのはあきらめて、生活のことを考えてほしい。うちは代々医者の家系だから医者になってほしい。そうしたら生活にも困らないし、人助けもできる。このことはお父さまも望んでおられたよ」と促しました。そ



れを聞いて袁了凡は納得しました。その後、たまたま近くのお寺にいと、そこに白く長いひげを生やした仙人のような老人が現れて、袁了凡に「お前に会って将来のことを全部教えてやろうと思ひ、遠くからやってきた」と言ひます。その老人は孔といひ「私は邵康節といひ大易者の流れをくむ者だ。私には何でもわかる」と言ひ、袁了凡人しか知らないこれまでの人生のことを言ひ当てました。袁了凡は自宅に孔老人を招き入れました。そこで、孔老人は「お前は今医者になろうと思ひているな。やめなさい。さすれば来年、科挙の最初の試験に受かるぞ」と言ひます。それも試験の合格順位まで予言したのです。袁了凡は、これまでの人生をすべて言ひ当てられていたので、それを信じて「わかりました。医者になることはやめます。また科挙の勉強をします」と言ひまし



た。そして、さらに生涯を占ってもらい、「次の試験は何番で合格。その次は何番。何年にはいくらの俸給をもらい、何年には貢生となり、その後、四川省の長官に選ばれ、在任2年半で職を辞し、53歳の8月14日の丑の刻に表座敷において一生を終えるであろう。惜しいことに子どもがない」と言われ、その聞いたことを丁寧に書きとめました。そして最初の試験を受けてみると、孔老人に言われた通りの順位で受かりました。その次の試験も言われた通りの順位でした。給料の額もその通りでした。すべて言われた通りの人生だったので、袁了凡是完全な運命論者になっていきました。

予言通り貢生となった袁了凡是南京の大学に遊学します。そこで棲霞寺を訪ね、雲谷禪師という有名な高僧に会いに行きました。そして三昼夜、袁了凡是雲谷禪師と



座禅を組み、その間一睡もしませんでした。雲谷禪師が「君は一体どういう人だ。まだ年若く見えるけれど、心がまったく動かない。人間というのは一刹那の間に九百の邪念が起こるといいますが、それがまったく起こらない。どういうことだ」と尋ねました。すると袁了凡は「実は若い頃に、孔老人に自分の人生を占ってもらいました。死ぬ時まで知っています。ですから、私は定まった運命を知っているので、妄想、邪念が起こらないのだと思います」と答えました。それを聞いて雲谷禪師は「すぐれた人物だと思ったが、ただの凡夫か」と言いました。袁了凡が「それはどういうことですか?」と尋ねると、「大易者なら凡夫の運命は全部言い当てることができる。しかし、たくさん徳を積む人は運命が刻々と変わっていくから大易者でもわからない。逆に罪障を重ねていく人



も運命が業に引きずられて変わっていくからわからない。お前さんは運命のままに生きている単なる凡夫だ」と答えました。それを聞いて袁了凡是また質問しました。

「それならば、運命というものは逃れることができるものですか？」

これに対して雲谷禪師は「運命は自分から作り、幸福は自分から求めるものである。お前さんがこれから徳分を高め、善事を力行し、多くの陰徳を積むならば、必ずや運命は好転していくであろう」と答えました。それから、功過格という善悪の行いに点数をつけたものを袁了凡に渡しました。これには「人の命を救うとプラス100点」、「人を殺したらマイナス100点」、「浮浪児を引き取って育てるとプラス50点」、「一人を出家得度させるとプラス30点」、「一人の無実の罪の人を救



えばプラス30点」など、プラスになる行いとマイナスになる行いが細かく、プラス1点、マイナス1点にいたるまで書かれました。また帳面を1冊渡し、「日記のように毎日行ったことを書きなさい。そして私が言ったプラスとマイナスを計算して、一日何点だったかを記録しなさい。そして合計3000点をめざしなさい。そして実行し始めたら必ず効験があると信じ切りなさい」と教えました。袁了凡は「わかりました」と返事をし、これまでの自分を深く懺悔して、雲谷禪師の教えにしたがって3000点の善行をすることを仏前に誓います。

これを達成するまでは絶対に退転いたしません」と仏前で誓って願文を差し出したのです。

その翌年に科挙の次の試験がありました。孔老人は3番で受かると言っていました。1番でその試験に受かり



ました。〃3000点の善行をしよう〃と思っおもて始はじめた
だけで、もう結果けっかが変わかったのです。3000点てんを満まん行ぎょう
したからではなく、懺悔ざんげをして心こころを切り替かえて徳とくを積つみ
始はじめたことで、もう効験こうけんがああったのです。

皆みなさんがお写経しゃきょうを百卷誓ひゃく巻われたら、百卷終ひゃく巻わるまで効
験けんがないのではありません。一卷目いっ巻を始はじめた時ときからもう
効験こうけんが現あらわれるのです。

袁えん了りょう凡ぼんは3000点てんの善行ぜんこうを成就じょうじゆするののに十じゅう余ねん年ねんかか
りました。それは善行ぜんこうとともに人ひとは悪行あくぎょうもしてしままうか
らです。成就じょうじゆした翌年よくとし、袁えん了りょう凡ぼんは上じょう人にん方がたを招まねいて先祖せんぞの
回向えこうをしました。「先祖せんぞのお陰かげで良よい教おしえを聞きいて徳とくを
積つむことができた。これは先祖せんぞに感かん謝しゃしならなければならな
い」ということことです。袁えん了りょう凡ぼんはの後あともずつと徳とくを積つみ
続つづけます。
(次号じごうにつづく)



日蓮聖人の御命日法要、お会式が厳修されます。
法音寺本山では、

十月十七日(水)、午後一時三十分より
講日に併せて御報恩法要が営まれます。
皆さまのご参詣をお待ちしております。

◆ 今月の山首上人さまご親修日程

安城支院	10月8日(月)	福山支院	10月13日(土)
大阪支院	10月14日(日)	京都支院	10月20日(土)
高槻支院	10月21日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・14日・21日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	8日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0568)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3933
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・22日	伊賀市上野向島町3-4-75	

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	6日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	20日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	8日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	13日・20日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	5日・7日・21日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	7日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・13日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	13日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	7日・21日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	21日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・12日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	28日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	14日・28日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

ろくはらみつはなし
六波羅蜜のお話



世よの中なかの人ひと々たちが一いち番ばん幸さいせなことは
みみなな楽たのしく平へい和わに喜よろこび
すことだらう？
そそういう境きょう遇ぐに
世よの中なかの人ひと々たちを導みちびくための
六むつの教おしえをいいうんだよ

お上かみ人ひとさま
「ろくはらみつ」ここて
なんなんですすか？



ろくはらみつ
六波羅蜜

3 忍辱
にんにく

にんにく 忍辱とは たいえしの 忍ぶこと
ごま 困った時、 くるしい時こそ
いかに 怒りをおさえ
おも 思いやりの心で
かんにん 堪忍をたもつことです



そんな人は
周囲の人からは
嫌われ
のけ者にされる
ことでしょつ



よく腹を立てる人
すぐ怒る人



さらに家庭では
家族とも不和となり
病気や災難にあつ
もつになります



そして友達をも
敵としてしまいます



せっかく過去に積んだ徳も
一度の怒りによつてその
大半を焼きつくしてしまひ
その結果 病や災難を
まねくことになるんだ



怒りは自分の境遇を
地獄の境遇に追い込んで
しまつ恐ろしい心づかい
なんだよ

でも相手から
ひどいこと
言われたり
いやなことされたら
誰だつて腹を立てませんか



何らかの
不満が怒りとな
なるのだから
相手はなぜ不満に
思っているのだらう



じゃどついたら
いいのですか？
相手の心を
思いやる
ことだね



その不満の原因を
思いやる慈悲の心
を持つのです



どつすればその不満を
解消させることが
できるのか



そうか…
だから あんなに
イラついてたんだな



あの方 すごいぶん
無理してらしたのね



なるほど
アイツも
たいへんなんだな



相手の攻撃に耐え
自分を見つめることによって
相手の凶性を引き出す
ことができます

私達にも
手伝えること
あるかしら

悪かったね
ワシもつい
カッとなって
しまっって…

掃除当番
くらしなら
変わってあげるよ

すると社会、会社、学校、家庭は
たいへん明るく楽しい環境となり
功德も倍増することでしょう

忍辱は
わが身を守る
大切な修養です

ろくはらみつ
六波羅蜜

4 精進
しょうじん

ただ正しいことに
も向かって
怒ることなく
努力することです



だれもが幸せになりたいと
一生懸命働きます



その働きによって
世の中の人々に幸せを
わけ与える
これが精進です



いっしょに頑張って
リハビリ
しましょつね



野菜もよ
食べてみて

おいしい
お米だねえ



いい家が
みつかって
よかったよ



精が出るね
ワシも
手伝わせて
もらつよ

それが自分だけの幸せを得るためだけではほんとうの精進ではありません



こんな仕事割りに合わねえな テキトウに やつとくか



あ新刊の漫画だね 読み終わった後に見せてよ



やだよ 自分で買えよ



一生かけて貯めたお金よ だれにも渡すもんか



食卓に並ぶんだ 丹精込めなまき



お勢で一人を いじめるなんて ひきょうよ

正しいことに向かって 怠ることなく努力し 社会から必要とされ やりがいを持って働かねばなりません



いってらっしゃい 気をつけてね

いつも さます さます ありがとうございます



すいぶん歩ける ようになりましたね



はい お弁当

いやー
助かりました



いつも
ありがとう
お兄さん

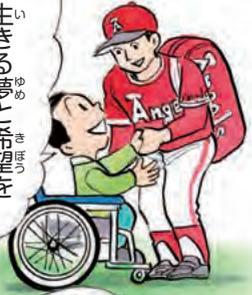


あなた達が
いってくれて
おお助かり
よ！



私達は仏さまの教えを基として
自分だけでなく世の人々も
本当の幸せに導くために一生懸命働き、
人としていちばん大切な、いきがいのある生活を
続けていくことが大切です

生きる夢と希望を
もらいました！



留守番
ありがとう



キミでなきゃ
ダメだ
頼むぞ！



いってらしゃい
車に気をつけてね



幸せな日々を送るための六つの徳目《六波羅蜜》

檀波羅蜜【布施】「慳貪の者には布施の心を起さしめ」

「慳貪の者」とは物惜しみをする人、自分を中心にして他人を思いやらない人のことです。こういう人は心に豊かさがないため、貧苦と困苦にせめられ、自分の行いを反省せず、他人を憎み、世を呪い、無意義な一生を送ってしまいます。「人」という字は二本の棒が支え合った字です。お互いに支え合ってこそ楽しい世の中となります。この支え合い助け合う行いが「布施」です。

尸羅波羅蜜【持戒】「驕慢多き者には持戒の心を起さしめ」

「驕慢」とは本当のことを知らずに知ったふりをする人のことです。せっかくこの世に生を受けたのに、正しい教えにふれることもなく一生を終わったら、とても残念です。自分の一生は菩薩修行であり、仏の子としての修行をしなければならぬと意識し、世の中の迷っている人々を、自分の力の及ぶところで、救い助けるようにしたいものです。法を守り、教えを聴き、学び、理想の境地に達するのが「持戒」です。

辱提波羅蜜【忍辱】「瞋恚盛んなる者には忍辱の心を起こさしめ」

「瞋恚盛んなる者」とは、よく腹立つ人のことです。いつも機嫌が悪く、怒っている人は周りの人から敬遠されるだけでなく、家庭が不和となり、時には病気・災難を引き寄せ、自分を苦しむ境遇に追い込んでしまいます。

相手は何らかの不満があつてそつこつ態度に出ているわけですから、その原因を思いやる慈悲の心を持ちましょう。せっかくの修行も一度の怒りによつて破壊されてしまいます。日頃どんなに徳を積んでも、怒りの炎が徳を燃やしてしまうのです。

お寺では「堪忍は我が身を守る最も大切な修養」と説かれます。

毗黎耶波羅蜜【精進】「懈怠を生ずる者には精進の心を起こさしめ」

「懈怠」＝怠け者。どんなに働いても仏の子としての仕事をしないなら懈怠といふことになります。

方便品の「一大事因縁」（人生で最も大事なこと）は「開・示・悟・入」。つまり、世の人々に仏知見を開かせ、仏としての行いをして人々に示し、法華経の修行をする人が仏になると自覚し、仏の道を進ませることです。皆が仏の道を進むようになれば、世界が平和になります。その理想の世の中が出現するまで、決して歩みを止めず、この仕事をたゆまずに続けることが「精進」です。

禅波羅蜜 【禅定】「散乱の者には禅定の心を起こさしめ」

「禅」という字の意味は「静慮（静かに考えること）」。「自分の行いを反省し、仏さまの教えに照らし合わせて、足りない点を反省することです。たとえいかなる周囲の悪い影響（貪り・瞋り・愚痴）を受けても、確固たる信念を養うことが「禅定」です。

朝、仏壇に手を合わせ「今日一日は怒りません。愚痴を言いません。徳を積みます」とお誓いします。夜になったら、一日を振り返り、誤ったことがあれば反省し、善いことができた日は自分の魂をほめ、諸天善神に感謝しましょう。

お寺で教えを聞き、家では毎朝毎晩心を整える実践が「静慮」です。

般若波羅蜜 【仏智】「愚痴多き者には智慧の心を起こさしめ」

この世の中、不平を思い、不満な日々を送っている人はとても多いのです。このような人は、自分だけのことを考え、周囲に感謝することを知りません。さらに、生きるためには食べなければならず、食べるためには働かなければならず、食べることができたら寝ている、ということでは人生はともはかなく、生き甲斐がありません。そして貧苦・困苦・病苦に苦しみ、貪りや怒りのためにますます困った状況に陥ってしまいます。

この苦しみ悩みを救うのは、物質や科学の力のみでは解決しません。心が救われなければ解決しません。そして心を救うのが仏さまの教え、法華経なのです。大事なことは、私達もこの法華経を学び実行したら、大勢の悩み苦しむ人を救うことができること知ることです。

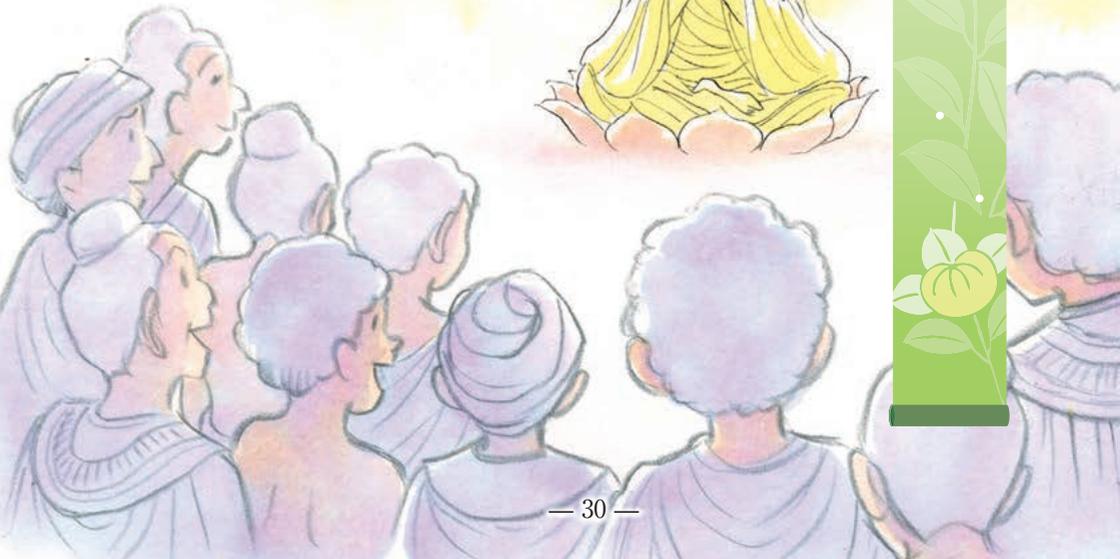
回向のこと

「回向」とは文字通り「回し向ける」こと。

自分の積んだ功徳を自分だけのものとしないうで、他にふり向ける、ということですよ。いったい何のために、他人にふり向けるのでしょうか。



遠い遠い過去世、大通智勝如来という仏さまがおられました。この仏さまには、出家する前に十六人の王子がいました。王子達は、お父さまが仏の智慧を成就して



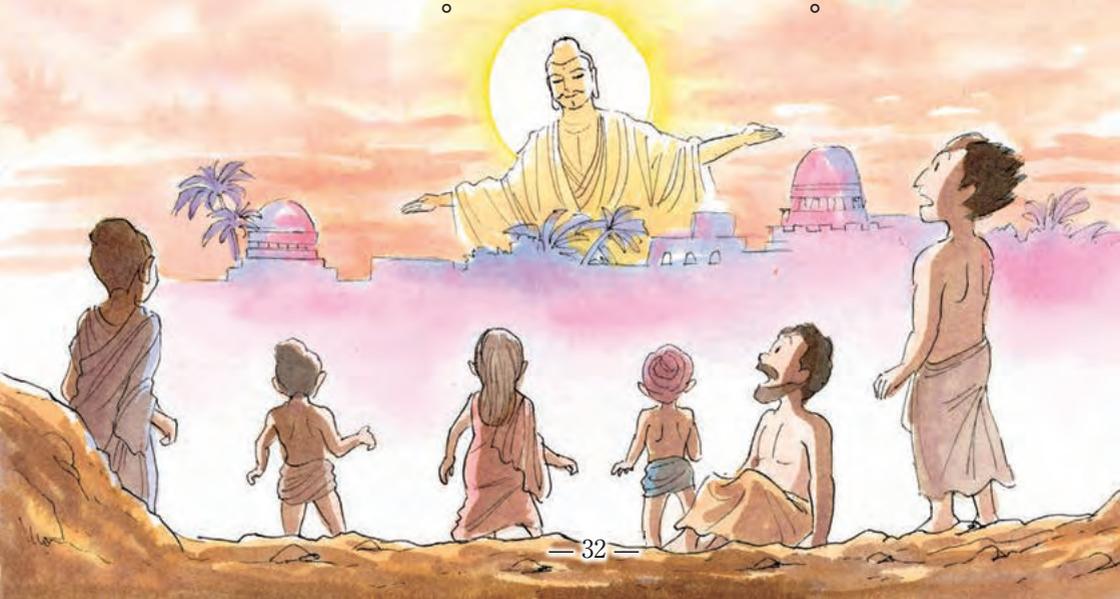
仏さまになられたことを聞いて、どうかみ教えをお説き
ください、と願います。

その時、天も地も光り輝きました。その様子を見た多
くの梵天王達も歡喜勇躍してその場に集まり、説法を願
います。

「仏さまがいらっしやらなかった時は十方が常に暗闇で、
地獄・餓鬼・畜生という悪道に堕ちる者が多く、阿修羅
の勢いもまた、とても盛んでした。天上界にさえ生まれ
る者も少なく、皆、悪道に堕ちてしまうのです。仏さま
に従ってみ教えを聞くこともありませんでしたから、い
つでも不善の行いのみで、体力も智慧もみな、衰えてし
まいました。そしてさまざまな悪業を重ねるものですか
ら、その罪障の因縁で楽しみもなくなってしまうました。



初めの内は、間違った考えを起こしたことを恥ずかしく
思いましたが、次第に、間違ったことをあたりまえと思
い、善いことをする方法さえわからなくなりました。教
えに縁がなく、常に悪道に墮ちるしかありませんでした。
そのような状態が随分と続きましたが、ようやく仏さ
まにお会いできる世の中になりました。仏さまは世間の
眼です。世間の人間を教え導く力を具えられ、とても長
い年月を経た今、ようやくお出ましになられました。世
の中のすべての人間を不憫に思うが故に世間に出現せら
れ、悟りを開かれ、私どもの手本となってくださいます。
私どもも、仏さまの歩いていらっしやった後を一步一步
進んでいけば、ついには仏の境界まで行けることがわか
り、いまだかつてない喜びを感じました。仏さまが出現
されたことで、自分達の住む宮殿も光が加わり、美しく

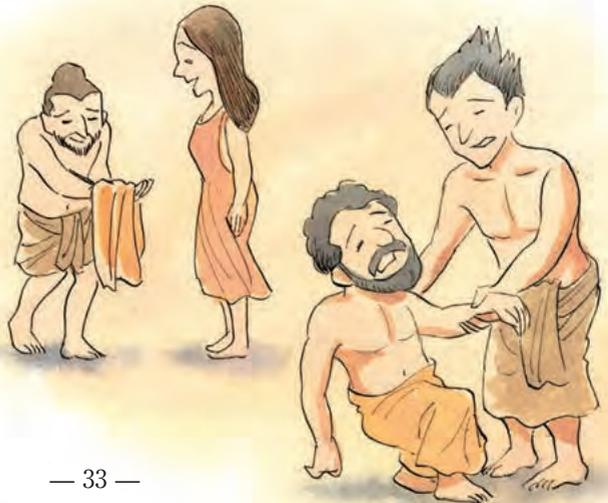


なりました。この宮殿を仏さまに差し上げます。どうぞ
ご受納ください。私どもの願いは、この功德をあまねく
一切の人々に及ぼして、私どもすべての人間が皆仏さま
と同じ本当に幸せな境地になりたいということです」

(妙法蓮華經化城諭品第七)

最後の一文、「願わくはこの功德をもって あまねく
一切に及ぼし 我等と衆生と 皆ともに仏道を成ぜん」
が「回向文^{えこうもん}」です。

すべての人が一緒に仏になるため、本当の幸せになる
ため、他にふり向けるだけの功德を積めるように日々菩
薩行を実行しましょう。



福祉に 生きる



社会福祉法人 昭徳会

小原学園・小原寮の実践

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。

鈴木修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために…

どんな状況でも笑顔を忘れずに

小原学園 児童指導員 大平 菜々美

私はこの本を読んで、昭徳会の創立者である鈴木修学先生は、さまざまな偉業を成し遂げられたすばらしい方であることを改めて学びました。ハンセン病患者さんの支援、非行少年達への農業指導、孤児達の養育、大荒行に、日本福祉大学開学まで、とても一人の生涯とは思えない程、大きな事業を次々と行い、福祉に従事した人生を送られた方であるということを知りました。日本の社会福祉の歴史となっているような偉大な方が立ち上げたこの社会福祉法人昭徳会の職員になれたことをとても誇らしく思うと同時に、修学先生の名に恥じぬよう、精一杯日々の職務にあたらなければならぬと、より一層身が引き締まりました。

修学先生のなされた事業はどれも偉大なものですが、すべての事業の根底にあるものは「困っている人を助けたい」という思いだけ一つでした。その気持ちをいつも忘れず、大切に続けてきたからこそ、たくさんの方々信頼を得て、大きな事業を成し遂げることができたのだと思います。私は、大学で福祉分野についての講義を受け、社会的弱者はたくさんいるにもかかわらず、自らヘルプサインを出せる人は少ない現状を知りました。それを受けて、少しでも助けを求めている人達の力になりたいと思うようになり、福祉の職業を選択しました。その時の強い思いを、この本を読みながら再確認することができ、この先もこの思いを忘れることなく、施設での慌ただしい生活の中でも、常に頭に置いておこうと思えました。また、毎日の積み重ねを大切に、関わる人達から信頼されるような人間になりたいと思えました。

修学先生は、法華経の教えに基づいて、不幸な人々を助けてきましたが、先生が貫いてきた信念の中でも、「どんな困難な状況でも、明るい心を失ってはならない」という思いがとて自分の中で響きました。働き始めてから今日までの自分を振り返ってみると、仕事を覚える

ことでいっぱいになってしまうと、心にゆとりがなくなり、利用者さんに対して笑顔で接することができなくなってしまうたり、するべきことが増えるにつれ、険しい表情を浮かべることが多くなったりしていたなと思えました。明るい心を持つということは、関わる相手の気持ちを明るくすると同時に、自分の心にもゆとりを持たせることでもあると思います。常に相手に思いやりの気持ちを持ち、どんな状況でも笑顔を忘れずにしていきたいと思いました。

修学先生の教えが現在に至るまで語り継がれ、昭徳会の歴史が百年以上続いてきたことは、とてもすごいことです。ここまで歴史をつくってきたくださった先輩職員の方々のご指導のもと、伝統を受け継ぎ、新たな歴史をつくっていく人材として、これからも頑張ります。

私にとっての「幸せの種まき」を見つけたい

小原学園 児童指導員 加藤 晶

私はこの本を読んで、人々が幸せに生きていくことができるように、「幸せの種まき」を進めていった鈴木修学先生に心を打たれました。そのため、私自身のできる

生き方を探したいと感じました。

修学先生は尋常高等小学校を首席で卒業後、家業の菓子間屋を継ぎ、岐阜県や滋賀県、三重県などへ取引先を広げました。その後、18歳の時に事業の失敗で大きな借金を抱えましたが、くじけず仕事に励み、菓子パンの製造販売に取り組み、23歳には大きな成功を収めました。しかし、それにもかかわらず、繁盛していた商売をたたみ、杉山先生の仏教感化救済会に入会しました。私が修学先生の立場だったら、どんなに杉山先生の教えがすばらしく、不思議な魅力にひかれたとしても簡単には決断できないと感じました。一度は大きな借金を抱え、その後事業が成功をおさめ、安定した暮らしができる中でリスクを負い、新しいことに取り組むなど、とても考えられませんが、それ程修学先生は法華経の功德を確信していたことがわかりました。

結婚後、ハンセン病療養所の運営を託されましたが、療養所の経営を賄う患者さん負担の入金が予定の三分の一しかなく、住み込みの7名の職員の給料、療養所の修理などでお金はどんどん出ていきます。そのため、用意していた資金は底をついてしまい、自分達の着物を質に入れることで生活をやりくりしていました。こうなれば

以前の事業が成功している時を思い出し、やらなければよかったと後悔があっても当然です。しかし修学先生は「法華経を信じて頑張ろう」「試練から逃げることはできない」と前向きな姿勢で取り組んでいました。お金もなく、自分に大きな負担のかかる生活を過ごす選択をされましたが、私なら「辞めて菓子パンを販売したい」と思うでしょう。このことから修学先生は責任感やぶれない心を持っていることがわかりました。

ほかにも、修学先生は中部社会事業短期大学を設立し、建学の精神を書き上げました。それが今では四年制の日本福祉大学となりました。私は日本福祉大学に通っていましたが、修学先生は今の私が人の幸せを考えるようになった大もとの人物ということになります。大学で学友と福祉を学び始めた時から、修学先生の幸せを思う考え方を学んでいたことがわかりました。

この本を読んで、修学先生の人柄、考え方を理解することができました。修学先生のような人を思う強い気持ち[〃]はなかなか持つことはむずかしいですが、これから先、私が利用者さんやご家族、友人、その他の人々とかかわる際に少しでも「幸せ」と感じてもらえるような生き方をしたいと思いました。また、私にとっての「幸

せの種まき」を見つけていきたいと思えます。

利用者さんの幸福のために努力していきたい

小原学園 児童指導員 椎名 将太

私はこの本を読み始めて感じたことがあります。それは鈴木修学先生と自分の考え方が違うということです。

私が福祉に携わる上で大切にしたいことは利用者さん
に精一杯の愛情を注ぐことです。そのためには、まず自
分自身が幸福だと感じている必要があります。自分を大
切にすることを忘れずに就労に励むことで、余裕を持っ
て利用者さんに接することができると思っています。

しかし、修学先生は違いました。自分が貧しくなっ
ても、たとえ拷問を受けようともお年寄りや病人、非行を
行う子ども、障がいを持った子どもを救おうと、その生
涯をかけて努力し続けました。それが私には自分を犠牲
にしているように思えました。

そう思えるのは現代の福祉が戦前や戦後に比べて、非
常に整備されているからにほかなりません。修学先生の
時代に福祉を営む者に国がお金を払うことはないでしょ
う。ましてや福利厚生などという言葉も存在しないでし

よう。それがあたりまえだと思える現代の福祉に携わっ
ているからこそ、修学先生の姿に疑問を覚えていたのか
もしれません。

私はこの本を読み進めていく中で、その考え方が変わ
りました。なぜなら、整備された現代の福祉を築いたの
は修学先生その人だからです。何かの初めの一步を踏み
出す人というのは、周囲から理解を得られなくても、自
分の身を犠牲にしたとしても、突き進んでいく強い意志
が必要なのだと思えて感じさせられました。

自分の身を犠牲にするという表現は語弊があったかも
しれません。私の教えを全うする修学先生にとっては、
貧しいことも、自分が苦勞することも苦ではなかったの
かもしれない。ただ、目の前の病で苦しむ人や、心が
荒れてしまった子どもが救われることや、幸福を感じる
ことが、修学先生自身の幸福だったのかもしれない。

だとするならば、修学先生が築いた福祉が根源にある
現代の福祉に携わる私も、同じことに幸福を抱き、利用
者さんの幸福のために努力していきたいと思えました。
自分が辛い思いをしたくない、我慢をしたくないという
姿勢よりも、自分が何に幸福を感じるのかということが
大切だと感じました。

そして、修学先生の「良かったことだけを探してほめてあげてください。良いことがなければ、何か仕事をさせて、そのことをほめてあげてください。それが一番良い指導法なのです」という考え方を、今後の利用者さんへの支援に生かしていきたいと思いました。叱ることも支援の中で大切なのは理解していますが、それが多くなると、利用者さんも自分の心も荒れていきます。利用者さんの幸福につながるのには、ほめることだと学びました。そのために利用者さんの一日の生活を温かく見守っていただけるように精進していきたいです。

つらい状況でも明るい心を持ちたい

小原学園 児童指導員 干場 愛花

鈴木修学先生のお話を読んで、たくさんの方の気づきや学びを得ることができました。

福祉の仕事や杉山先生、法華経と出会う前から、修学先生は事業に失敗して大きな借金を抱えても、くじけることなく仕事に励んでおり、そのような姿勢が弱い立場の人達を粘り強く助ける行動につながっていたのだと感じました。そして、事業が成功しても、自分はそのまま

で幸せなのだろうか?と考える修学先生は、立派なことを成し遂げることが出来る人なのだと感じました。杉山先生や法華経と出会い、教えを実行し、人々を幸せにすることが修学先生にとつての幸せを得る方法だと教えてもらったことが「福祉」につながっていくのだと思いました。

修学先生でも最初はなかなかうまくはいかず、寝たきりのお年寄りにお題目を唱えても回復の兆しがないことを相談しに行った時、杉山先生は「因果の二法」のお話をされました。私も小原学園の子ども達を「因果の二法」で考えるようにすることで、良い支援につなげていけると感じました。杉山先生の教えを守り、粘り強くお年寄りと向き合ったことで、その方は回復しました。また粘り強く支援をしていくことで、子ども達もできないことができるようになったり、より上手になったりしていくことを学びました。

修学先生がハンセン病療養所の運営を託された時、施設はひどい状況で資金も足りませんでした。それを試練だと考え、当時は世間から偏見や差別を受けていたハンセン病患者さんを自分の身を削って助けようとする姿はとてつとすごいと思いました。患者さんのために、大切

にしていた金時計を売り、着物を用意してあげたことは、本当に相手のことを思っていないかできないことだと感じました。ハンセン病療養所は運営が困難になり、修学先生は名古屋に戻るようになりましたが、このつらい経験の中でも教訓を身につけ、それをその後の発展に役立てていけることは、とてもすごいことだと思いました。私も今は初めてのことばかりで、つらいこともたくさんありますが、先生の生き様を忘れず、頑張りたいと思いました。

その後、修学先生は非行少年の更生指導を任せられました。指導をする際は必ず自分がやってみせ、一緒にやることで信頼が生まれることを学びました。私も自ら率先してやるべきことを忘れずに支援していきたいと思えます。修学先生の「人間も心の耕作を怠らなければ必ず善い人になれる」という言葉は、とても心に響きました。修学先生が藤森の育児院を託された時も、子どもと一緒に庭の掃除を行い、しっかりと向き合い、能力を伸ばそうとされた姿は、まさに見習うべきと感じました。そして、ほめて伸ばすことを忘れてはならないと思いました。

修学先生を知り、先生がいなければ今の福祉はないと感じました。私も常に子ども達と真剣に向き合い、どん

なにつらい状況でも明るい心を持ちたいと思いました。

真の福祉人として生きていきたい

小原寮 生活支援員 浅田 恵美子

鈴木修学先生が生涯行ってきたことすべてにおいて感動しました。また、先生を導いてくださった杉山先生の言葉、「慈悲・至誠・堪忍」の三徳に心を打たれました。修学先生はふとした時に、「これで本当に良いのか？」という考えを持ち、そこから杉山先生の教えを守って活動し続けていました。私はふと自分を振り返り、修学先生のように、「これで本当に良いのか？」と考えることが苦手なので、少しずついいので修学先生のように振り返りができるようになりたいです。

修学先生はハンセン病患者さんの支援から非行青年の更生と幅広く支援されており、しかもすべてにおいて嫌と言わず、引き受けていました。本当に困っている人達に対して自分のできる最大限の方法を使って支援をしてきた姿を見習ってみたいです。

杉山先生の三徳について、とても共感するところが多くありました。まず「慈悲」ですが、職員行動指針の一

つである「同じ目線で向き合う」という点で、上下ではなく対等に向き合っていくために大切なことだと思っていたので共感しました。「至誠」は、自分が持っている考えと同じだったので改めて大切さを知りました。「堪忍」は最も苦手な面だと思いました。

この「慈悲・至誠・堪忍」のすべてを持ち続けることができるのか、自分は不安ですが、修学先生はこの三徳を守り続けていたと思うと、とても心の広い方だったのだらうと感じました。

日本の福祉を考える上で修学先生は苦勞しつつも、福祉を築き上げ、すばらしい偉業をなされました。修学先生が杉山先生に出会うことがなければ、福祉の発展はなかったと思います。

私もこの三徳の教えを守りつつ、業務を全うしていきたいです。また自分を振り返り、真の福祉人として生きていきたいと考えています。

修学先生の責任感と勇敢さに感動

小原素 生活支援員 栗田 裕之

この本を読んで、昭徳会の創設者である鈴木修学先生

がどのような人物で、どんな業績を成し遂げたのかを知ることができました。中でも印象に残ったものについて書きたいと思います。

まず修学先生の若い頃の職業が菓子問屋で、福祉や仏教とは異なる分野だったことに驚きました。私は修学先生がもともと福祉や仏教と関わり深い生活をしていたからこそ、当時社会福祉制度が未熟であり、社会の関心も低かった福祉に興味を持ち、日蓮宗とも出会ったのだと思っていました。しかしそうではなく、「尋常高等小学校を卒業してから家業の菓子問屋を継ぎ、事業を大きくする中で失敗も経験するが、23歳のころには、菓子パン製造販売で大きな成功を収めている」とあるように、家業である菓子問屋の経営に励む好青年で、親しみやすい人物であることがわかりました。恩師との出会いや経験を通して社会福祉事業にたどりついたのです。また人生の転機となった杉山辰子先生との出会いが23歳の時のことで、現在自分も23歳なので親近感を覚えました。

修学先生の生の松原でのハンセン病患者さんの救済も印象的でした。みつさんと結婚してゆっくりと生活を組み立てていきたい気持ちもあつたらうに、すぐにハンセン病療養所の運営にあたっている姿が、責任感にあふれ

る人物であったことを感じさせます。また当時ハンセン病に対する偏見や差別が強く、生活も厳しい中、逆境に屈するのではなく、援助を求めするために地域住民に訴え、弱者を守ろうとする姿に勇敢さや行動力を感じました。

修学先生は日本福祉大学や昭徳会を設立するなど、大きな働きをしており、遠い存在のように感じていましたが、歩んできた人生を見ると親しみを持つことができ、また人間的にも責任感や勇敢さのある人物であることがわかりました。



障がい児入所施設 小原学園

- 愛知県豊田市沢田町座内22
- 入所定員40名、シヨートステイ4名
- 職員 正職員19名、パート職員7名

●児童指導員（障がい児福祉分野）

Ⅱ入所児の食事の支援、排泄支援、入浴支援、健康・衛生管理や余暇活動の支援、行事の企画立案を担当。次の任用資格が必要。①地方厚生局長の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校を卒業した者。②社会福祉士。③精神保健福祉士。④大学または大学院で、社会福祉、心理、教育、社会学のいずれかに関する学部・研究科・学科・専攻を卒業した者。⑤小学校、中学校、高等学校の教諭の資格を有する者。⑥高等学校を卒業した者であって、2年以上児童福祉事業に従事した者。⑦3年以上児童福祉事業に従事した者であって厚生労働大臣または都道府県知事が適当と認定した者。具体的な進路としては、4年制の福祉系大学を卒業するか、大学で、心理学、教育学、社会学を専攻し、児童指導員任用資格を取得することが一般的。

障がい者支援施設 小原寮

- 愛知県豊田市沢田町座内22
- 入所定員140名、シヨートステイ9名
- 職員 正職員48名、パート職員26名

●生活支援員Ⅱ入所者の行動障害への対応や身の回りの介護、健康・衛生管理、作業等の活動支援、利用者個別の支援計画や年間行事の企画立案等を担当をします。特に資格は必要としません。

※本稿は平成30年7月にいただきました。（掲載順不同）

『日本の福祉を築いたお坊さん』 日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・168頁・800円(税別) 本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

授産所高浜安立開設20周年記念式典



写真提供・昭徳会

授産所高浜安立
～利用者の工賃向上に向け、一人ひとりに寄り添った支援に努力～

9月1日(土)高浜市のかわら美術館にて、大村愛知県知事、吉岡高浜市長をはじめ沢山のご来賓や取引企業、地域の方々をお迎えし、授産所高浜安立開設20周年記念式典を行いました。鈴木正修理事長(法音寺山首上人)は、ご挨拶で「高浜市の知的障がい者無認可施設を、保護者及び高浜市の要望に応える形で、高浜市から業務を移管され事業を開始し、こうして開設20周年記念式典を迎えることができたのも、皆さま方のご支援とご協力の賜物と、改めて感謝を申し上げる次第です。

また、当法人は事業を開始いたしましたから今年で106年目を迎えました。創立時の理念を損なうことなく、本日まで真の福祉社会の実現をめざし、精進を続けてまいりました。今後もさらに、社会福祉の向上に全身全霊を傾けていく所存でございます」と述べられました。

来賓の方よりご挨拶をいただいた後、利用者の作業及び工賃向上に多大なご協力をいただいたい

る取引企業に対し、理事長から感謝状が贈呈されました。

祝賀会では「ぱりまる」製造の立ち上げに深く関わっていただいた、「おとうふ工房いしかわ」の祝い膳ランチを堪能しながら、参加者の皆さまに20周年を祝っていただきました。

授産所高浜安立は昭徳会唯一の就労系障がい福祉サービス事業所として、事業を行ってまいりました。20年の間には障がい者を取りまく環境も大きく変わり、就労系の事業所に関しては工賃向上が求められてきました。

そのため平成22年には「ぱりまる」の製造販売を開始しました。これはただ、工賃向上をめざしただけではなく、障がい福祉サービス事業所でも社会の役に立つ仕事をしたい。利用者さんが胸を張って自慢できる仕事をしたいくという思いもあります。

又、高浜市唯一の就労移行业業としても積極的

に就労移行に取り組み、一人でも多くの利用者さんを一般就労につなげることができれば、より豊かな暮らしにつなげられることになりました。

そして何より、授産所高浜安立の利用者さんに対しては、たとえ障がいが重くても、その人ができる仕事を見つけ、生産活動に参加できるように一人ひとりに寄り添った支援を行い、その人らしい生き方を精一杯応援したいと思っています。

地域に根ざした施設であるために、今後も授産所高浜安立に関わるすべての人に対し、おもてなしの心を持って接するとともに、昭徳会の基本理念「幸福」の実現に向け、地域で障がいを持った方々が豊かに暮らすことができるよう、職員一同精一杯努力して参ります。法音寺の皆さまにおかれましても、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

授産所高浜安立 所長 改田 健児

スカラシップ制度入学生特別講演会

—— 日本福祉大学社会福祉学部

日本福祉大学社会福祉学部長 小松理佐子

去る8月9日、学園長・鈴木正修先生に、「学園創設者に学ぶ『ふくし』の精神」と題して、スカラシップ入試制度（成績優秀者の選抜試験制度）で入学した1年生を対象に特別講演会をしていただきました。講演では、学園創立者鈴木修学先生の生涯やお考えに加えて、お人柄にふれるエピソードも披露していただくことができ、有意義で楽しい時間となりました。

日本福祉大学は、修学先生によって、日本で最初の4年制大学の社会福祉学部として創設された大学です。今回のご講演は、今大学を担っている私達の使命を改めて考える機会となりました。私達社会福祉学部は、現学園長の正修先生とともに、修学先生のご意志を受け継ぎ、弱い立場の方に寄り添うことのできる人材を育てていきたいと思えます。



心と行動と

行政専修 大山 陽子

お話の中で一番印象に残った修学先生の活動は、生の松原のハンセン病療養所の運営です。ハンセン病患者さんの話は、高校の授業でも聞いてはいました。外見に症状が現れたために、社会から隔離され、家族からも縁を切られ、自らをも卑下していく心の痛くなる話でした。そんなハンセン病患者さんに対して、世間の厳しい動向の中で、一人の人として向き合った修学先生の心の強さに感服しました。

そして何よりも驚いたのは、修学先生と奥さまの献身的な姿です。自らの服や嗜好品、家財道具を売りはたいて、施設の患者さんの衛生環境を守り、従業員の給料を払う。並大抵の心持ちではこんなことはできないと思います。

目の前の課題に、そのときの精一杯の活動を行う。極端にも見えませんが、そんな人を見てみると、周りの人も支援に積極的な心持ちになるような気がします。実際、修学先生の献身的な活動を見て、後々賛同する人々も現れたのですから。

また、生の松原のハンセン病療養所でのお話に、祭りに行きたいと患者さんが申し出て、修学先生が服装を見て断ってしまうエピソードがありました。私だったら罪悪感にかられ、悩んで終わりだったかもしれない。しかし、修学先生と奥さまは、またも自分達のものを買って、患者さんに清潔な着物を配り、祭りに連れて行くのです。ここで私は、修学先生の機転の利く行動の早さ、反省を活かす力に驚きました。結局、療養所経営は危うくなるのですが、患者さんの気持ち大切に思い、自分のことを顧みない修学先生の献身的な優しさには、本当に驚きました。

修学先生の社会福祉事業は、上からお金だけ与えるような支援ではなく、当事者の心に寄り添い、苦楽をともにすることで、当事者だけではなく周りの人々にも理解の輪、支援の輪を広げるすばらしいものだと思います。

私にはここまで大きなことはできませんが、この大学で学び、修学先生の思いとは何かを考えたり、支援を必要とする人一人ひとりに寄り添い、活動したりすることはできます。この講演会を機に、大学での学びをより一層深め、自分の中で発展させていきたいと思

いました。

鈴木修学先生から学んだこと

子ども専修 中森 千織

講話の中で印象に残っているお話が二つあります。

第一に、子どもを育てていく中で、ほめることがいかに大切かということです。現在でもしばしば、「教育」として体罰が行われていることを耳にする時があります。時には、厳しさも必要になってくるかもしれませんが、ほめることとのバランスが重要であるように改めて感じることができました。

修学先生が子どもを育てていた施設に、向上箱というものを置いていたことを知りました。子ども同士が、互いに良いところを見つけあう目的で設置していた向上箱は、非常に良いものだと感じました。自分では気づくことのなかった自分の良いところを知ることでもでき、新しい自分の発見にもつながるように思います。ほめられることで自分のことを好きになり、また自信が身についたり、子どもを育てていく中で大切なことが、たくさん詰まっているように感じます。また相手の良いところを見つけることは普段は意識していない

ので、周りのことを意識するだけで色々な人の新しい面も見え、相手の理解につながるように感じます。

第二に、修学先生が「障がいを持っていても、丁寧に教えることで健常者以上にすばらしいものを作ることができると言われていたというお話が、印象に残っています。テレビなどで、障がいを持っている方が描いた絵を見たことがあります。非常にきれいで印象に残っています。修学先生は、障がいを持っていても、その人達にできることを見つけ、そして支えています。生きることの意味を伝えていたように感じます。修学先生に励まされ、生きがいを感じる事ができた人は、多くいるように思います。

これから私は、大学で福祉のことをたくさん学んでいきます。今回の鈴木修学先生についてのお話は、これからの学びの上で、自分に活かしていけるもののように感じました。人のために自分にできることをするということは、非常にむずかしいことです。しかし、小さなことから私自身も誰かのために、何かできることを見つかけようと感じました。そして、自分の将来につなげていきます。また、このようにして日本福祉大学が築かれてきたことを、多くの人に知ってもらいた

いと思いました。

福祉を築いた修学先生の教え

医療専修 山口 泰知

修学先生についてのお話をうかがい、特に驚いたことが二つあります。

一つは誰に対しても平等に接し、懸命に尽くすこと、もう一つは、修学先生が弱音を吐くことがなかったことです。修学先生は、どんな人に対しても同じように接し、幸せを願い、その幸せのために尽力していたことを知りました。

エピソードの一つに、ハンセン病の患者さん達のために、宝物である金時計を売り、そのお金で36人分の着物を用意したという話がありました。修学先生が自分の宝物を売ってまでして着物を用意したことに対し、初めはすごく驚きました。しかし、修学先生の人生や考えを知るにつれて、その行動はあたりまえであったことに気づかされました。

修学先生は、周りの人の生活や幸せについて考え、どのような状況でも、その人達のためにできる限りのことをされる方でした。また、修行中であっても、顔

を見に来た人達を気遣う、手紙を書いて送るなど、周りの人や子ども達のことを常に考えていたことがわかりました。

お話の中で、修学先生は、どんなに経営が厳しくても、頼られたり、寄付をお願いされると引き受けてしまう人だということでした。そのために借金がふくれ上がったたり、運営していくのが困難になったという話を聞き、私は修学先生がどこかで弱音を吐いたり、くじけそうになったことがあるのではないかと思いました。修学先生は楽天的な性格の人と聞きましたが、奥さまや信頼できる人には弱みを見せたことがあるのではと考え、正修先生に質問してみました。正修先生ならそういう話を聞いたことがあるのではないかと思いましたが、「聞いたことはない」とおっしゃいました。みんなが暗い顔の時には、冗談を言うなどのエピソードを聞き、修学先生は、本当に楽天的で弱音を吐いたりあきらめたりしない人だったとわかりました。

お忙しい中時間を割いていただいた正修先生をはじめ、講演会を開いてくださった大学の方、貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。

本日の講話を終え、決意したこと

医療専修 加藤 正幸

私は自分自身が何のために生まれてきたのか、人々のために何ができるのか、日々煩悶しております。しかし、今回学園長先生からさまざまなお話をうかがっているうちに、思い悩むより即行動をとらなければならぬことがわかりました。先生の「行動の後に結果がついてくる」とのお言葉を胸に、自身に与えられた使命を見つけないと思っております。

しかし、何を始めるにしても、ファーストペンギンになるには、計り知れない勇氣と行動力が必要です。また、これはあくまで自分の考えですが、この行動力と勇氣の原動力となるのは「動機」であると考えます。鈴木修学先生であれば、杉山辰子先生と出会ったことが、日本の福祉を築き上げるといふ大業を成し遂げる動機となったのではないのでしょうか。私自身この世に生を受け、福祉のプロを育てる日本福祉大学にスカラシップで入学したことには、必ず意味があると考えます。限りある自身の命を人の幸せに役立てることができるといふ、そして意味のある使い方をするために、

座学にもフィールドワークにも人間関係の構築にも精一杯励み、将来は修学先生のように、他人のことを第一に考え、行動できる人になるべく、意味のある時間を過ごせるようにします。

『日本の福祉を築いたお坊さん』には、宿業について書かれておりました。また、過去世の宿業を現世の善業によつて、変えることができるとありました。この言葉に私はとても感銘を受けました。今、目に見えていゝさまざま宿業に振り回されるのではなく、きちんと現実を見極め、感謝の思いを忘れず、日本福祉大学でさまざまな知識を身につけ、人々の役に立てる社会福祉士をめざします。

最後になりましたが、私はこれからの大学生活をより有意義で、価値ある時間にするために、そして何より今日の日本から、そして地元山口から必要とされる人材になるべく、ここで書いた内容を実践していき、「日福」の名に恥じないような大人材になることを約束いたします。

修学先生から学ぶ福祉の精神について

人間福祉専修 大竹 彩加

私は鈴木正修先生のお話をお聞きし、創設者の修学先生は、一生を福祉に尽くした人だと感じました。修学先生は、貧民や病人、孤児などの弱者救済を行い、たくさんの施設を運営されました。その中でも特にハンセン病療養所の運営の場面が、印象に残りました。

修学先生は、妻のみつさんと結婚して間もなく、ハンセン病療養所の運営を任せられました。当時、ハンセン病は人々から恐れられ、強い感染力があると思われる病です。みつさんは自殺してしまおうと思う程つらかったそうで、とても大変なことであったと思います。

着任後すぐ、ボロボロだった施設の修理をし、準備していたお金がなくなってしまう。ここに私は、修学先生がハンセン病患者さんに対し差別しないで、まずは住みやすい環境を作ろうとした優しさを感じました。

お金が尽きてしまい、患者さんのご家族が負担することも少なかったため、お寺を回って寄付を募り、教

えを聞いて感動した人達は寄付を申し出てくれました。みつさんは「ハンセン病はうつる」と言われた時代に嫌な顔を見せず、患者さんの治療をしました。私は、このお二人のどちらが欠けても、施設の運営はできなかったと思います。きつと、療養所で働いているだけで世間から避けられることもあったと思いますが、周囲の人々に人助けの心を伝えたことは、本当に素晴らしいと思います。

ほかにも修学先生は、罪を犯した少年や、親からひどい扱いを受けた子ども達を保護しました。その時に、人を信じられなくなった子どもが悪いことをしても叱らずに、悪いことであると学ばせて、しっかりほめるというところが、普通ならできないことだと思います。

修学先生のように自分のお金を使い果たしても、人助けをし続けることは、かなりむずかしいことだと思います。しかし、どんな小さな手助けでも、困っている人からしたら、とても助かることであるのは間違いないと思います。大学生活の中で、ごみ拾いや車いすを押すなど、些細なことから実践していきたいと思いた。

謹んでお見舞いを申し上げます

この度の台風21号、また北海道胆振

東部地震で被災された皆さまに謹んで

お見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を

心よりお祈り申し上げます。

大乗山 法音寺

編集後記

この夏は記録的な猛暑とともに未曾有の災害が日本列島を襲いました。今月号では、災害支援部会が福島県南相馬市と広島県三原市で活動した記事を掲載いたしました。その後日談として地元の方の声も添えさせていただきました。「Oさん、法音寺ってあなたが行っているお寺さんじゃろ。昨日、一昨日と『法音寺災害支援部会』のベストを着たボランティアの人がたくさん来てくれたんよ。名古屋から来てくれたんじゃね」（41頁）

『法音』の編集作業をしている中で、このようなお声にふれられると、とても心がほっこりいたしました。

日々のテレビ報道は最新の事件や災害にのみ意識や関心を向けがちですが、カメラが向けられない地域でも困っている方々がいること、復興が進まなければ被災地の時計の針は止まったままなのだということを忘れないことが大切なのだと思います。

私達は「信仰と福祉」のお寺に関わっているという意識を胸に、日々自分のできることで困っている人に手を差し伸べ、悲しんでいる人には心を寄り添わせていきたいものです。

挑 戦

竹中 淳



ウサギとカメが
かけっこを
しました

足の速いウサギは
ノロマなカメを見て
途中 昼寝をし

カメはその間
コツコツ走り続け
ウサギを追い抜き
勝ちました



その話は
「得意がって油断するな」
ってことさ
オレはウサギのように
油断しないよ!

そうか…
今日の100メートル走
出るといいね



ウサギとカメの話
知ってるよね

なんだい
突然…



カメは走ることが
遅いってわかってて
なぜウサギと
競走したんだろ?

ウサギが昼寝を
してくれたから
よかったけど…



根尾が1位でオレが2位
今まで1位以外とった
ことないオレがだぞ



蓮…
おぼえてるか？
春100メートル走で
オレが根尾に
負けたこと…



悔しくて
寝ても覚めても
根尾の顔が
うかぶんだ

この半年
アイツに勝つて
1位になることだけ
考えて練習してきた



ごごめん
悪かったよ



その悔しさを
はらす日が
来た！

オレは今
集中しているんだ
つまらない話
しないでくれ



ハヤッ



委員長
スタートの笛
お願い！
先生はタイム
測るから

はい



今日は
100メートル走の
タイムを測ります
よかった人は
県予選に出場も
ありますよ
頑張りましょう





100メートル走 4年3組

順位	男子	女子
1	木タケル 15:30	1 伊井 岳 17:02
2	根尾新 15:35	2 三浦 莉 17:20
3	山田 隆 16:05	3 田中 美咲 17:25
4	鈴木 大 16:20	4 佐藤 莉 17:30
5	南 蓮 16:50	5 藤田 美 18:01
6	山田 巳 17:10	6 山田 美 18:09
	遠平 17:19	7 伊藤 杏子 18:10
	川 健 17:22	8 三山 莉 18:15
	山田 大 17:25	9 山田 星 18:20
	山田 大 17:30	







いいよ
根尾くん！
もちろん
いいよ！

蓮くん ボクも
いっしょに練習
させてくれよ



もっとモモを
高く上げる
感じで走って
みなよ



ボクこの間の
100メートル走で
タケルに負けただろ



うん 何度か
誘ったんだけどね

タケルは練習
しないのか？



もっと
腕を…

こう？



いつか
タケルに
勝ちたいって
練習してきた



ずーっとボクは
足の速い
タケルを
目標に

そのタケルを
見てて 春に
ボクがタケルに
勝つた時のことを
思い出したんだ



そして勝てたボクは
うれしくて はしやぎ
有頂天うきうきてんになったた



それから 練習れんしゅうを
サボルようになったボクは
タケルに負けてやるとわかった
「テング」になってたんだね

タケル
や、たな!



蓮くん
毎日のように
放課後練習ほうかごれんしゅう
してただろ
ずっと見てて
ボク気づいたよ



蓮くんは自分で
目標を立てて
自分自身に
挑戦してたんだね



自分
自身に



挑戦?

あつ そうか
カメだ!

カメはウサギに
勝つために
走ったんじゃない

カメは
ノロマな自分自身に
挑戦したんだ



カメ?

いや…ハハ
なんでもないよ
こっちの話





おしまい

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華経

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華経略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を
学びたい方へ



日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄／

宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
http://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

■児童養護施設

駒方寮
名古屋養育院
名古屋若松寮

■障がい児入所施設

小原学園

■障がい者支援施設

小原寮

■特別養護老人ホーム

安立荘
高浜安立荘
小原安立

■障がい福祉サービス事業

授産所 高浜安立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス 高浜安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス 大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム 高浜安立

■自立援助ホーム

慈か 泉 寮
か り ん

■保育所

駒方保育園
光徳保育園
天王保保育園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

■日本福祉大学大学院

■日本福祉大学

■日本福祉大学中央福祉専門学校

■日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211
http://www.n-fukushi.ac.jp



法音・平成30年10月号・No.588・平成30年10月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社